

# 女子部が行く!

学会探訪記

第11回 セミナー推進委員会  
—学会ならではのセミナーを実施する!—



レポーター 林 夏美 (三菱電機 (株))

本会会員なら、大学や会社の掲示板に「連続セミナー」のポスターが貼られているのを一度は目にしたことがあるでしょう。今回は、その連続セミナーを企画しているセミナー推進委員会の会議(2016年11月7日実施)の様子についてお伝えします。全日程に参加するために8万円強(正会員区分)を必要とする連続セミナーについて、その企画方法から、お得に参加するコツまで、さまざまなことを取材させていただきました。

## セミナー推進委員会について知る!

セミナー推進委員の仕事として、①年間コンセプトのもと通年で6回行われる「連続セミナー」(図-1)の企画立案・実施と、②単日で行われる「短期セミナー」の企画と実施・他組織による企画の承認、の2つがあります。特に、連続セミナーのコンセプト・テーマ・コーディネータを決定することが重要な仕事です。一方、短期セミナーは、セミナー推進委員会に加え本会の情報規格調査会<sup>☆1</sup>などが企

☆1 本会 情報規格調査会: <https://www.itscj.ipsj.or.jp/>

画することもあり、その際はセミナー推進委員会が企画承認や集客方法の検討を行います。セミナー推進委員会のメンバは、主査・理事(学会理事会から選出)と推薦で選ばれたメンバ10名の計12名で構成されています。また、委員会の会議は、本会事務局があるビルの会議室で月に1度実施されています。

## セミナー推進委員会の会議に参加する!

11月7日に会議室に集まったのは理事・委員5名、本会事務局3名の合計8名でした。そのほかにSkypeから遠隔参加の委員もいらしたのが、皆様が忙しい中、本会議の時間を捻出しているのをよく表しているでしょう(図-2)。

取材日は、短期集中セミナー「Exciting Coding! Junior 2016」(11月12日)と連続セミナー第5回・第6回を目前に控えていたため、まずはそれらの開催について議論となりました。委員の方々が、多くの人にセミナーに参加してもらえるようにさまざまな集客のアイデアを提案していきます。短期集中セミナー Web ページの訪問者が情報を得やすいように申込フォームの文言の修正案を提案したり、

【コンセプト】イノベーション最前線:

変わりゆく社会と生活へのインパクトの源流を究める

回数(開催日)	テーマ
第1回(6月28日)	実世界に埋め込まれる人工知能
第2回(7月22日)	ビッグデータ利活用を支えるクラウド基盤技術
第3回(9月30日)	スマートなヘルスケアとライフケア
第4回(10月28日)	広がりを見せるIoTの現状と今後の展望
第5回(11月15日)	メディアアート
第6回(12月22日)	フィンテック~ブロックチェーンの理解と応用~

図-1 連続セミナー 2016年度コンセプト・テーマ一覧



図-2 会議の様子

連続セミナーの会場として、交通アクセスが良く、会場の様子を大阪の遠隔会場にスムーズに配信することが可能な会議室<sup>☆2</sup>を探したり、申込希望者・参加者の視点から改善点を探します。もちろん、聴講者アンケートも参照しながら改善案について真剣に議論を重ねていきます。今回の会議では、お子さんがいる委員からの「小学生の子供を持つ親には“無料で”参加できることを強く伝えた方がよい」という意見により、Exciting Coding! Juniorの申し込みフォームの説明文について修正が行われました(図-3)。なお、連続セミナーとExciting Coding!のイベントの詳細な様子は次号(情報処理 58-5号)の学会活動報告として掲載される予定ですので、そちらもぜひチェックしてみてください。

今年度のセミナーについての議論の後、議題は2017年度の連続セミナーに移りました。次年度コンセプト・テーマは前年5、6月から約半年をかけてじっくり検討されます。取材を行った会議では、2017年度のコンセプトはすでに仮決定しており、テーマの検討を行う段階へと進んでいました。委員の提案などから作成したテーマ案リストを基に、参加者に価値ある情報を伝えられるセミナーになるよう、慎重にテーマ選定を行います。たとえば、学

☆2 連続セミナーでは、ネットワークを介して大阪府の遠隔会場へセミナーの様子を配信しています。快適な通信のために、グローバルIPアドレスを利用できることが本会場の条件となっているようです。

【修正前】
<b>&lt;セミナーの申し込みフォーム&gt;</b> 参加料：無料 参加条件：情報処理学会のジュニア会員であること <b>&lt;情報処理学会への加入申し込みフォーム&gt;</b> ジュニア会員の年会費：無料
【修正後】
<b>&lt;セミナーの申し込みフォーム&gt;</b> 参加料：無料 参加条件：情報処理学会のジュニア会員であること ※年会費無料

図-3 修正前と修正後の提示情報の違い(要約。下線部が追加されたことで、無料で参加できることが一目で分かるようになりました)。

会として俯瞰的な情報を提供できるテーマになっているか?『デジタルプラクティス』と連携することで産業界からの参加者に価値を提供できないか?といったことが考慮されます。2017年度のテーマは、2017年1月ごろに決定する予定です。来年度の連続セミナーはどのようなテーマになるのか、要チェックです。

### セミナー推進委員長・副委員長に聞く!

会議が終わった後、特別に、那須川委員長(日本アイ・ビー・エム)と北村副委員長(三菱電機)にインタビューのお時間をいただきました。

セミナー推進委員として心がけていることをお聞きしたところ、やはり「学会ならではのセミナーを実施すること」だそうです。学会ならではの点として、論理的な裏付けがとれた、先進的な技術の情報を俯瞰的に得られることが挙げられます。また、セミナー参加者はその分野の権威による講演を聞くことができることも特徴です。

一方、連続セミナーの企画における難しい点として、コンセプト・テーマ決定から実施までが半年空くので、半年後を見据えてテーマ決定を行う必要がある点が挙げられるそうです。委員も悩みながらテーマ決定を行っているそうなので、参加者の方々に、テーマについてフィードバックを積極的にいただけると助かるとのことでした。

続いて、連続セミナーが学会に対して担う役割について聞きました。すると、連続セミナーには一般の方（非学会員）も参加できるため、学会をアピールすることで新規会員加入のきっかけとなることが挙げられるそうです。しかし現在、連続セミナーの主な宣伝方法は学会誌もしくは学会Webページに限られており、新たな宣伝方法の検討など、セミナー委員会の議題は尽きることがなさそうです（事務局の方曰く、本会の収入を支える柱の一本だということも忘れてはいけない役割の1つだそうです）。

インタビューの最後に、筆者が大学時代から連続セミナーに対して思っていることを委員長に聞いてみました。ずばり「率直に言って、参加費が少し高いと思うのですが…」。すると、委員長から、参加チケットに「複数綴り」があるという情報を教えていただきました（6枚綴り、3枚綴りの2種類）。複数綴りのチケットを利用すると1回ずつ参加費を払うよりも安価にセミナーに参加することができます。さらに2015年度以降、複数綴りで購入したチケットを、購入した名義と別の人も使用することができるようになったとのこと。たとえば、6枚綴りのチケットを購入し、6人で1回のセミナーに参加することや、6回のセミナーにそれぞれ別の人が参加することも可能だそうです。ぜひ活用してみたいと思います！（図-4）。

### 取材を終えてセミナーについて思う！

連続セミナーは、今まで私にとって、興味はあっても自分が参加する対象ではないという存



図-4 向かって左が那須川委員長，右が北村副委員長。

在でした。理由は、やはり参加費が高価であるからです。学生だった頃はもちろんのこと、研究職に就いた今でも「費用を出してもらってまで私のような若手が参加するものではない」と考えていました。しかし、今回取材を通してその認識を改めました。連続セミナーは「学術的に理論づけられた情報を得ることができる」「偏っていない、俯瞰的な情報を得ることができる」ことから、若手こそ参加費を払っても聴講する価値があるものだとは考えています（それでも参加費が気になる方は、複数綴りのチケットを上手に使うテクニックを活用してみてくださいね！）。

実は、北村副委員長は筆者の所属部の部長であり、社外での会議に同席することは初めてだったため、取材が始まる前は緊張でいっぱいでした。ですが、会議は終始にぎやかに進められ楽しく取材をすることができました。そのようなセミナー推進委員会と連続・短期集中セミナーの魅力が、今回の取材記事で伝えることができたら嬉しいと思います。

(2016年12月15日受付)

